



contents

- P 2 予算の基礎知識
 - P 4 歳入（1年間の市の収入）
 - P 6 歳出（1年間の市の支出）
 - P 8 令和8年度 相模原市の主な取組
 - P10 相模原市財政状況
 - P12 相模原家の家計簿
 - P13 寄附金制度のご案内
 - P14 宝くじ情報
-



予算の 基礎知識

まずはじめに、
基本的な疑問にお答えします。

Q 予算って何？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

どんな収入がいくら入ってきて、そのお金をどんな仕事にいくら使うのか、あらかじめ決めておく必要があります。

最初に決める1年間の予算を「当初予算」といいます。

予算(収入と支出の計画)

収入(歳入)	支出(歳出)
・市税 ・使用料 ・国庫補助金 など	・福祉 ・教育 ・消防 など

Q 予算ってどうやって決めるの？

A 市長のつくった予算案が市議会の議決を受けることで 予算が決まります。

皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算案を作成します。

その予算案は、市民を代表する市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

Q 予定外のお金が必要になったときは？

A 予定外の支出に必要な予算を補正予算として見積もり、 市議会へ提出します。

年度途中で編成する予算を「補正予算」といいます。

「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出された予算案が市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。





Q

令和8年度の相模原市の当初予算はどのくらい？

A

一般会計、特別会計、公営企業会計のすべての会計をあわせると、6,522億円になります。

一般会計

4,055億円

子育て、福祉、教育、道路整備などの基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計

2,125億円

国民健康保険や介護保険などの特定の目的のための会計です。

国民健康保険事業

介護保険事業

母子父子寡婦福祉資金貸付事業

※特別会計予算額は各特別会計の合計額

後期高齢者医療事業

麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業

自動車駐車場事業

公共用地先行取得事業

財産区

公債管理

公営企業会計

342億円

市が運営する企業の会計で、下水道、簡易水道があります。

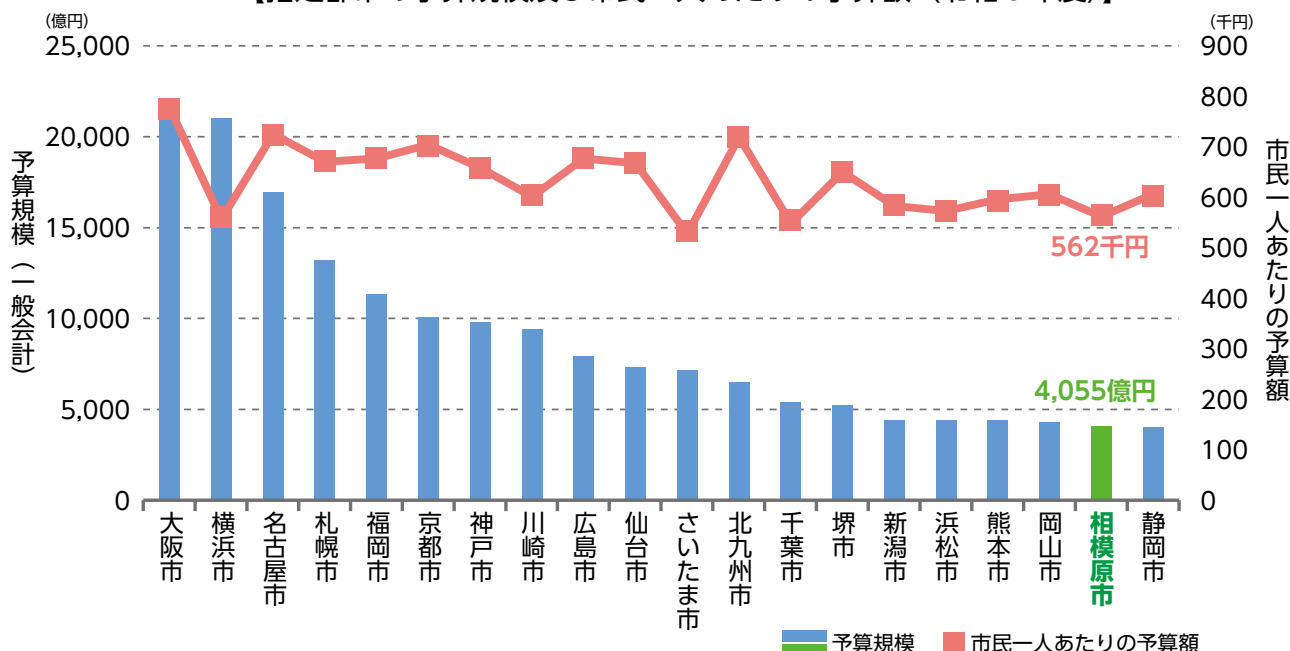
下水道事業

簡易水道事業

※公営企業会計予算額は2つの公営企業会計の合計額

※予算額は億円未満を四捨五入

【指定都市の予算規模及び市民一人あたりの予算額（令和8年度）】



※市民一人あたりの予算額は、令和8年1月1日現在の「推計人口」から算出しています。
 (札幌市と北九州市は令和7年9月1日現在の推計人口から算出)



POINT

指定都市の中では、比較的小規模な予算ですが、令和8年度は、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、子育て関連の取組の充実や物価高騰への対応、老朽化した公共施設の改修などの経費を増額させたことにより、過去最大の予算（対前年度比8.1%増）となりました。

歳入

1年間の市の収入

つづいて、市の収入である歳入について説明します。

Q

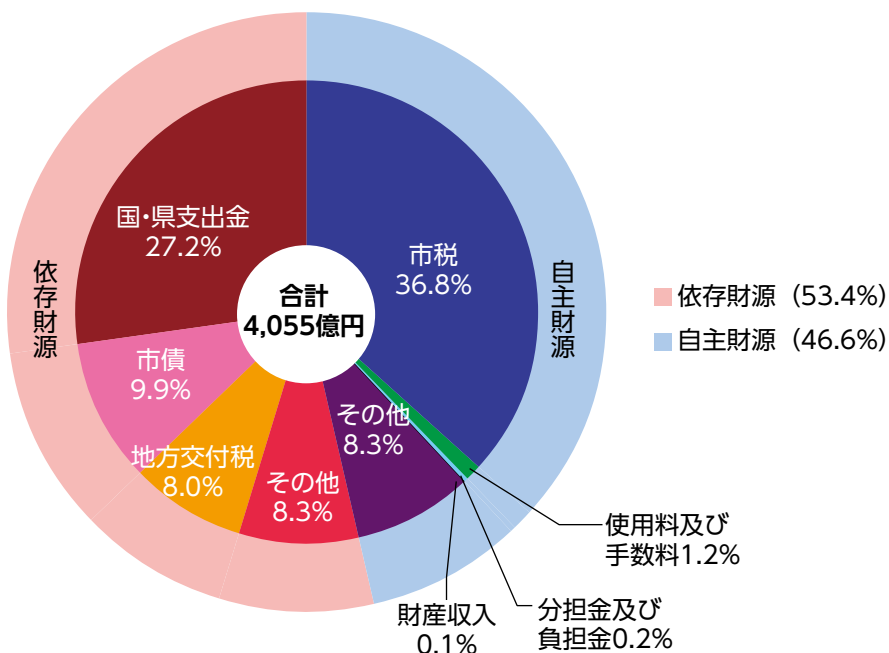
市の収入にはどんなものがあるの？



A

市税や国・県支出金、市債、施設の使用料などがあります。

【一般会計歳入予算】



依存財源

国・県支出金 1,101億5,305万円

市が実施する事業に対する国や県からの補助金などのお金です。

市債 400億2,200万円

事業を実施するために、国や金融機関などから借り入れるお金です。

地方交付税 326億円

全国どこでも一定の行政サービスを提供できるように、地方公共団体の財政状況等に応じて配分されるお金です。

その他 337億2,902万円

各種交付金などです。

自主財源

市税 1,493億円

皆さんから相模原市に納めていただく税金です。

使用料及び手数料 49億3,612万円

市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。

分担金及び負担金 8億258万円

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

財産収入 5億4,039万円

市が持っている財産の貸付けや売払いなどにより得たお金です。

その他 334億1,684万円

各種基金からの繰入金や繰越金、寄附金などです。

POINT

- ①収入のうち、「市税」が最も大きな割合を占めており、全体の約4割となっています。
- ②「自主財源」とは、市が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは国や県から交付されたり割り当てられたりする収入や市債のことです。「自主財源」の割合が大きいほど、財政は安定していると言えます。



Q

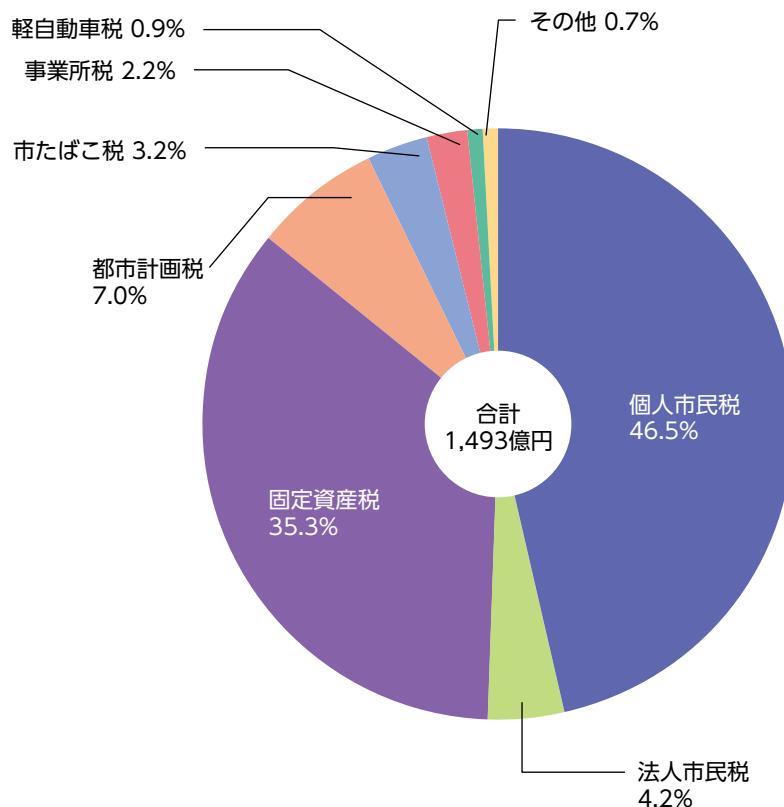
市税にはどのようなものがあるの？

A

市税には以下のものがあります。

個人市民税	個人の前年の所得にかかる税	694億6,134万円
法人市民税	市内に事業所等がある法人にかかる税	62億3,678万円
固定資産税	土地・家屋・償却資産（事業用の機械等）にかかる税	527億3,659万円
都市計画税	市街化区域内の土地・家屋にかかる税	103億6,013万円
市たばこ税	たばこ製造者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税	48億3,956万円
事業所税	事業所等における事業活動にかかる税	32億8,173万円
軽自動車税	原付・オートバイ・軽自動車などにかかる税	12億6,539万円

【市税の内訳】



- ①市税収入は過去最大。令和8年度は、働く人の給料が増えたことなどによる個人市民税の増収や、会社の設備投資などによる固定資産税の増収を見込んでいます。
- ②市税は全体の8割以上を個人市民税と固定資産税が占めています。

歳出

1年間の市の支出

つづいて、市の支出である
歳出について説明します。



Q 市の支出にはどんなものがあるの？

A 支出を目的ごとに分けると、福祉（民生費）、
教育や土木などがあります。

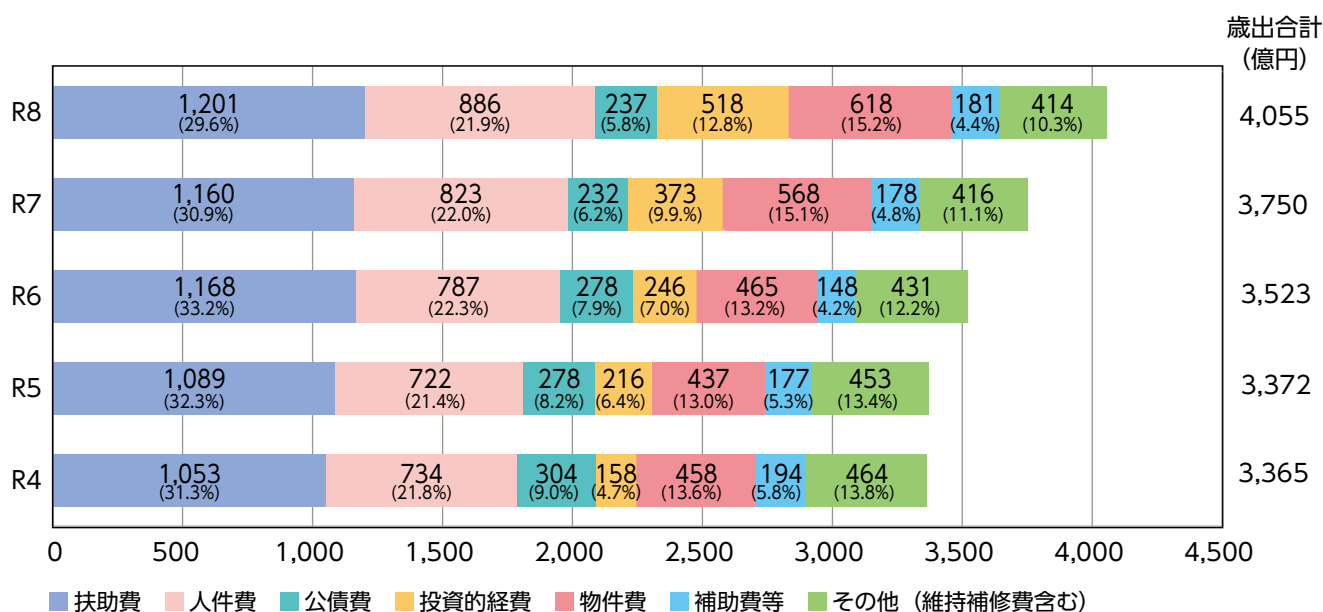
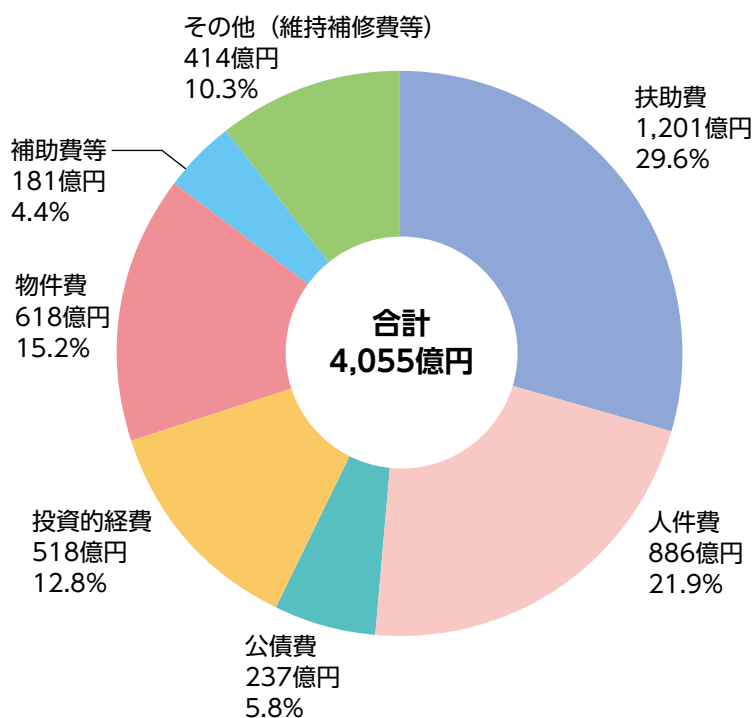
目的別経費	当初予算額	構成比 (%)
議会費 (市議会の運営などに要する経費)	11.8億円	0.3
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	455.1億円	11.2
民生費 (子育て支援や高齢者・障がい者福祉などに要する経費)	1,683.7億円	41.5
衛生費 (健康づくりの推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	345.2億円	8.5
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	7.0億円	0.2
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	11.0億円	0.3
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	150.0億円	3.7
土木費 (道路、公園、河川などに要する経費)	314.7億円	7.8
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	108.3億円	2.7
教育費 (学校教育、生涯学習などに要する経費)	718.4億円	17.7
公債費 (借金の返済などに要する経費)	237.8億円	5.9
その他	12.0億円	0.2
合 計	4,055億円	100.0



子育て支援や高齢者・障がい者福祉などに要する経費である民生費が全体の4割以上を占めており、次いで、学校教育、生涯学習などに要する経費である教育費が約2割となっています。

支出を性質ごとに分けると、扶助費、人件費、投資的経費などがあります。

【一般会計歳出予算】



- 令和8年度は、未来への投資となる新たなまちづくりの推進や、市民のくらしの安全・安心を確保するため、老朽化した小中学校校舎、道路などの公共施設の改修事業などを実施する投資的経費を大幅増（対前年度比38.7%増）しました。
- 生活困窮者、高齢者、児童、障がい者等に対する様々な支援を行うための経費である扶助費が全体の約3割、人件費が全体の約2割となっています。

令和8年度 相模原市の 主な取組

本市の将来像の実現に向けた
取組について説明します。

Q

「本市の将来像の実現に向けた取組」ってなんだろう？

A

少子高齢化が進む中で、「都市と自然のベストミックス」などの相模原市の特徴を生かし、住みやすいまち、魅力あるまちとして、多くの人々に選ばれ、将来にわたって発展を続けていくために、次の取組を進めています。

【特に重点的に力を入れる取組】

主な
取組

少子化対策

36億1,331万円

- ▶ アプリを活用したプレコンセプションケア（妊娠・出産を含めたライフデザインや将来を考えた健康管理）の普及啓発など

4,066万円

- ▶ 令和9年4月からのこども医療費助成制度の拡充に向けた準備（高校生世代の所得制限と中学生以上の一部負担金の撤廃）、令和10年度までに市立児童クラブの受け入れ年齢を6年生まで段階的に拡大するための施設整備など

26億9,325万円



主な
取組

雇用促進対策

10億9,701万円

- ▶ 市就職支援センターでの分野横断的な支援など

2億314万円

- ▶ 企業に対するロボット・DX・AIの活用促進や、人とロボットが共存するロボットフレンドリーな環境構築に向けた取組など

1億377万円

- ▶ 子育てサポート企業の認定である「くるみん認定」の取得を目指す市内企業に、職場環境の整備や両立支援のための補助、アドバイザー派遣など

1,125万円



中山間地域対策 10億8,046万円

主な
取組

▶ 持続可能な移動手段を確保するため、
乗合タクシーの運行エリアの拡大など 2億405万円

▶ 道の駅の設置に向けた取組など

1,200万円

▶ 中山間地域振興モデル地区（小原・青根）
推進事業の実施など

6億1,258万円



【市の個性を生かす分野】

子育て

59億6,236万円

主な
取組

▶ 0歳6か月から3歳未満で保育所等に通っていない子どもを育て
ている人が、就労要件を問わず、時間単位で認可保育所などを利用
できる園の拡充など 2億4,440万円

▶ 国の交付金などを活用した市立小学校及び義務教育学校
（前期課程）の学校給食費の全額支援による保護者の負担
軽減など 18億3,729万円



教育

25億3,834万円

主な
取組

▶ 中学校夜間学級の運営、学校生活支援員の配置、多様な学
びの場の確保など 5億783万円

▶ 新たな学校給食センターを整備し、中学校13校での全員喫
食開始など 6億9,759万円



まちづくり

82億4,137万円

主な
取組

▶ リニア中央新幹線開業を見据えた橋本駅周辺の区画整理
など 8億3,302万円

▶ 「安心とゆとりある文化・行政が集積する中枢業務拠点」の
実現に向けた相模原駅周辺のまちづくりの検討など
8,223万円

▶ 「産業・みどり・文化・生活が融合した新たな都市づくり」を
進める拠点となる麻溝台・新磯野地区の整備の推進など
28億1,715万円



各項目に関連するSDGsの主な目標（ゴール）を表示しています。

相模原市 財政状況

相模原市の財政の現状について、
各種データに基づき説明します。

Q

市の財政は大丈夫なの？



A

借金が少なく、堅実な財政運営です！

健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全性を判断するための指標で、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、公表が義務付けられています。

	令和6年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	11.25
②連結実質赤字比率	—	16.25
③実質公債費比率	2.9	25
④将来負担比率	—	400

数値が早期健全化基準を超えると、財政再生に向けた取組をしなければなりません。

①実質赤字比率と②連結実質赤字比率は、赤字がないため「—」となっています。

③の実質公債費比率は、1年間の借金の返済費用が1年間の収入額に対し、どのくらいの割合なのかを示したものです。

④の将来負担比率は、借金や買取りを約束している土地代など、既に将来支払うことが決まっている金額等を含めた事実上の総負債額が1年間の収入額に対し、どのくらいの割合なのかを示したものです（令和6年度は充当可能財源等が将来負担額を上回ったため算定されませんでした）。

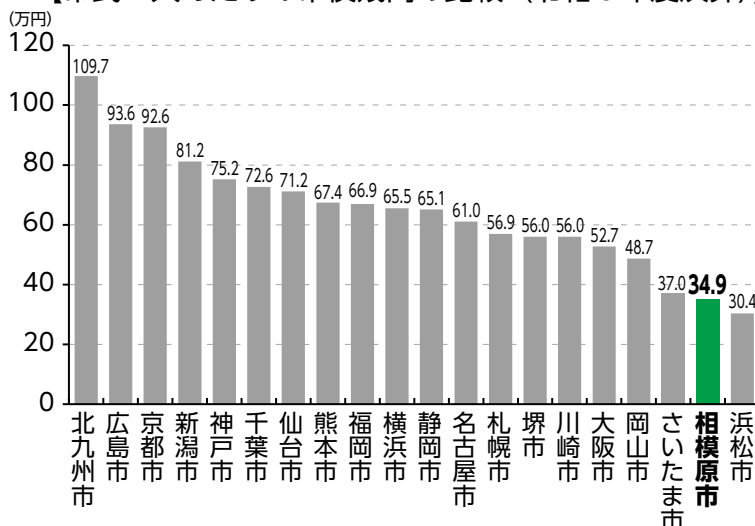
ともに数字が小さいほど、将来の借金の返済に対する負担割合が少ないということになります。

市債（市の借金）

市の令和6年度決算時点の市債残高は2,500億円となっており、市民一人あたりの市債残高を他の指定都市と比較すると、2番目に低くなっています。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計決算の数値から作成しています。

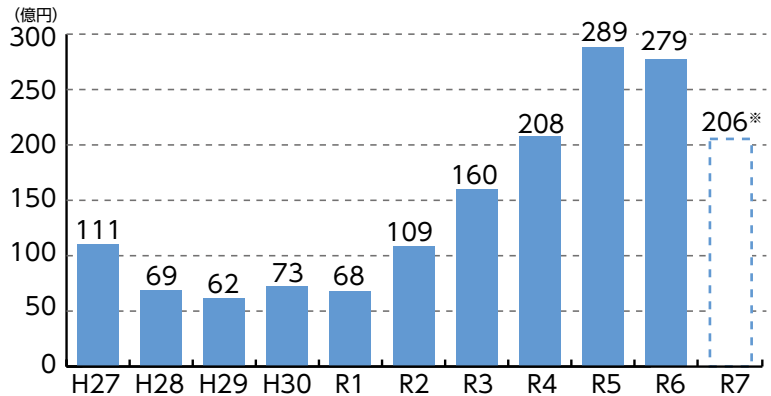
【市民一人あたりの市債残高の比較（令和6年度決算）】



**Q****市の貯金はどのくらいあるの？****A****市の貯金にあたる「財政調整基金」は令和6年度末で279億円です。****財政調整基金（市の貯金）**

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応するため、市でも貯金をしています。これを「財政調整基金」と呼んでいます。

※令和7年度の財政調整基金残高206億円（予算ベース）については、決算後に確定します。

【財政調整基金残高の推移】**Q****貯金があるのに、なぜ借金をするの？****A****皆さんも家や車を購入する時にローンを組むように、市も市債（市の借金）を活用しています。**

市債には公共施設などの建設費を将来利用する市民の方にも負担してもらうことで、世代間の「負担の公平」を図るという役割があります。

Q**貯金もあって、市の財政は健全なんだね！****A****健全とは言いつつも課題もあります。**

市の財政を家計に例えると、毎月のお給料の多くが固定経費（食費や光熱水費、ローン返済など）にあてられており、自由に使えるお金はあまり残らない状況です。

このため、普段から支出の見直しや収入の確保などに取り組み、将来にわたって安定的な財政運営に努める必要があります。

相模原家 の家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家を年収500万円（月41万7千円）として、市の予算を当てはめてみましょう。

収入月額	家 計
給 与	33万4,900円
基本給（市税）	15万3,500円
諸手当（地方交付税など）	18万1,400円
家賃収入 （使用料、手数料など）	5,000円
貯金の取崩し （基金繰入金）	1万3,800円
生活資金の借入金 （臨時財政対策債）	0円
家の増改築の借入金 （建設債など）	4万 400円
その他（諸収入など）	2万2,900円
収入合計（月額）	41万7,000円

支出月額	家 計
食費（人件費）	9万1,300円
医療費（扶助費）	12万3,300円
ローンの返済（公債費）	2万4,600円
光熱水費、通信費、消耗品 （物件費）	6万3,400円
自治会費、習い事代 （補助費など）	1万8,300円
家、車の維持・修理代 （維持補修費）	5,000円
家の増改築 （投資的経費）	5万3,400円
その他	3万7,700円
支出合計（月額）	41万7,000円

～『こと はじめ予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者（オランダ語で西洋の学問を学ぶ者）の苦労が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか？

「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」などという言葉もしばしば耳にされると思いますが、自分の暮らすまち

の財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいて、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。

相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>

【トップページ】⇒【市政情報】⇒【財政・債権管理】からアクセスしてください。

寄附で、あなたも市政に参加してみませんか！ 「暮らし潤いさがみはら寄附金」のご案内

POINT
01

寄附金は、あなたが指定した事業に活用されます！

市の事業のうち、幅広いメニューから使い道を選択いただけます。
使い道を指定しない「一般コース」も選択できます。

POINT
02

寄附金は、税金から控除されます！

2,000 円を超える部分は税金から控除されます！（上限額があります）

POINT
03

「ふるさと納税ワンストップ特例制度」がご利用いただけます！

ふるさと納税による税の軽減を受けるためには、確定申告を行っていただく必要がありますが、寄附をする方が寄附先の自治体へ所定の様式による「申告特例申請書」の提出を行うことで、確定申告を行わなくても個人住民税の控除を受けることができます！

※ワンストップ特例の対象者は、ふるさと納税の寄附金控除を受ける目的以外で所得税や住民税の申告を行う必要がない方で、その年にふるさと納税をする自治体の数が5 団体以下であると見込まれる方となります。

※相模原市の返礼品の受領は、市外に住民登録のある方に限られます。

【令和7年度 暮らし潤いさがみはら寄附金の実績（速報値）】

令和7年度寄附金額 約8億9,674万円

多大なるご寄附ありがとうございます。皆様からお預かりした寄附金は、原則ご寄附いただいた年度の翌年度の予算の中で活用させていただきます。

【クラウドファンディング型ふるさと納税】

＜令和7年度 実施結果＞令和7年度は次の5 プロジェクトを実施し、合計243件、440万円のご支援をいただきました。あたたかいご支援をいただき、ありがとうございました。



※クラウドファンディング型ふるさと納税とは…

自治体や返礼品から寄附先を選んでいただく従来のふるさと納税と異なり、寄附の使い道から、寄附先を選んでいくふるさと納税です。

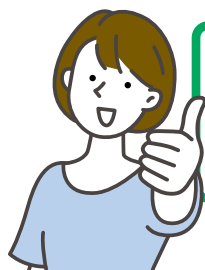
市内の方でも、市外にお住まいの方でも、事業にご賛同いただける個人の方ならどなたでもご参加いただけます。

詳しくは市ホームページをご覧ください。か、財政課まで

「宝くじ」のご購入は相模原市内で

宝くじの売上の約4割は、収益金として都道府県及び指定都市の収入となり、その収益金は販売実績に応じて配分されます。このため、市内の販売実績が増えると市の収益金が増え、皆様の豊かな生活につながります。

宝くじを購入する際は、是非**市内**でお買い求めください！



令和7年度収益金（速報値）
約12億8,101万円



ネット購入が便利です！

宝くじ公式サイトからも、宝くじを購入できます。

宝くじの購入から当選結果の確認、当せん金の受け取りまですべてネット上で完結します！ぜひご利用ください！

※宝くじ公式サイトでの会員登録の際の「購入者の登録住所地」が相模原市の場合、市の収入として活用されます。詳しくは、公式サイト（<https://www.takarakuji-official.jp/ec/>）をご確認ください。

令和7年度はこんなところで活用されています！

宝くじの収益金は、道路の整備や修繕、リニア中央新幹線の開業を見据えた都市基盤等の検討・協議など、市民の暮らしと将来のまちづくりに活用させていただきました。



都市計画道路宮上横山線道路改良工事



リニアまちづくり関連推進事業

注）このイメージ図は、まちづくりガイドラインに記載の内容を踏まえて本地区の将来の土地利用をイメージしたものであり、施設配置や高さなど、具体的な具体的な開発計画に基づくものではありません。

税理士会は、法律により資格を与えられた唯一の「税」の
専門家である税理士によって構成されています。

東京地方税理士会 相模原支部

住 所 神奈川県相模原市中央区中央3-14-12 山久第一ビル 2階
連絡先 ☎ 042-759-0046（土・日・祝日は休み） URL <https://s-zei.org/>

相模原事務用品協同組合

相模原事務用品協同組合 代表理事
浦上 裕生

事務局 ▶

〒252-0239 相模原市中央区中央4-5-9 ロアジス相模原4C
TEL 042 (750) 2838 FAX 042 (750) 2855

URL: <http://www.e-jimu.jp> e-mail: kumiai@e-jimu.jp

(有) オオヌマ 042-778-4290

菊屋浦上商事(株) 042-754-9211

(有) 橋南堂 042-772-2408

越路屋 042-742-7773

(株) ジムオール 042-758-5571

B S D 一和 042-685-1511

(株) 文盛堂 042-752-2303

(株) 宝月堂文具店 042-730-3917

(有) マルスギ包装システム 042-755-8510

(株) ミリオン事務機器 042-784-3856

(株) ユニックス 042-748-9836

(有) 渡邊文相堂 042-761-5518

新築・お子様の勉強部屋・リフォームのご相談は



有限会社

トータルハウジング久野

神奈川県相模原市中央区水郷田名2丁目11番26号
TEL 042(762)0096 FAX 042(760)0078
<https://www.t-h-kuno.co.jp/>



SOIN

相模原市印刷広告協同組合

プロ集団
19社

印刷・広告受注、地域情報紙印刷配布、
市民まつりパンフレット・暮らしのガイド（ナイスガイドさがみはら）作成
街美化アダプト制度の活動、PTA・公民館広報誌講習会（年1回開催）等

相模原市印刷広告協同組合代表理事 秋本 博寿

〒252-0239 相模原市中央区中央3-7-5 ☎ 042(776)6100 FAX 042(776)5656 <https://www.soin.or.jp/>



Bank of Yokohama

横浜銀行

相模原駅前支店

〒252-0231

相模原市中央区相模原2-1-1

TEL：042-754-1234



きらぼし銀行

<https://www.kiraboshibank.co.jp>